

アサヒカルピスウェルネス（株） 研究開発部



お客様の健康的な暮らしをサポートする商品開発

アサヒカルピスウェルネス社は、自然の恵みからの独自の機能性素材や、長年の研究を経て培った、乳酸菌や酵母などの有用な微生物活用技術を通して、世界のお客様の健康的な暮らしと、生活の質の向上に貢献することを目指しています。

機能性素材や技術を活用

アサヒグループの技術や、乳酸菌飲料「カルピス」の研究に由来する素材や、技術を活用した高付加価値の商品を開発しています。

「カルピス」から受け継いだ機能性素材

乳酸菌で人々の健康に貢献したいと考えた三島海雲は、日本初の乳酸菌飲料「カルピス」を生み出し、さらにそれを世界にも広げていきたいという夢を持っていました。この志を受け継ぎ、長年にわたる独自の乳酸菌・発酵乳の生理機能をはじめ、様々な研究から開発した機能性素材を世界中に展開し、お客様の健康に貢献することを目指しています。

独自性の高い健康食品

独自の機能性素材や技術を活用した健康食品を開発。2004年の発売以来「アレルケア」はカラダの中からバランスを整えたい方に、「しなやかケア」は年齢や生活習慣が気になる方に愛用いただいています。また、お客様の健康的な毎日をサポートするメンタルサポート「ココカラケア」、「骨こつケア」、「すらすらケア」などをラインアップしています。

アサヒバイオサイクル（株） サステナビリティ事業本部 アニマルニュートリション事業部



「枯草菌 C-3102 株」



微生物研究で畜産業界へ貢献

安全で良質な肉や卵を育むために、天然由来の商品を研究開発しています。私たち人間や動物の消化管には、無数の微生物が存在し、そのバランスが健康を左右することもあります。当社では長年にわたる微生物研究を家畜のすこやかな成育をサポートする技術へと応用する研究に取り組んでいます。

極力抗生物質を使用しない畜産物生産へ

世界的に安全・安心な畜産物へのニーズが高まるなか、畜産業界は、成長増進目的での抗生物質を使用しない畜産物生産への対応を迫られています。抗生物質に頼らなくても家畜を健康に育てることができ、飼料を効率よく利用できる研究開発は、海外の畜産関係者からも注目されています。

飼料添加物「カルスポリン」

「枯草菌 C-3102 株」を有効成分とする、牛・豚・鶏用の飼料添加物です。適量、毎日給与すると家畜の腸内有用菌が増加します。哺乳類の場合はビフィズ菌と乳酸菌が、鶏の場合は乳酸菌が優勢菌になります。

乳酸菌混合飼料「ファインラクト」

良い鶏を育てるには初期の一週間が勝負。そのためにはひなの腸内フローラ（菌叢）が健康である事が最も重要な条件なのです。初生時に与える「ファインラクト」（ひな用）は、生まれて間もないひなが乳酸菌優位の健康な腸内フローラ（菌叢）を形成するのを手助けします。